



射和萬古寿老人會合 江戸時代

京都の文化とも
密接なつながりを持ちつつ
伊勢の地に根差した茶の湯



竹一重切花入 銘天愚 藤村庸軒作 江戸時代

館蔵品展

川喜田家の

茶の湯



黒織部茶碗 銘「藍」 江戸時代

2014年

7月4日(金) ▶ 9月7日(日)

※8月12日(火)から一部展示替え

- ◆開館時間／10時～17時(入館は16時30分まで)
- ◆休館日／毎週月曜日(但し祝日の場合は翌日:7月21日(月・祝)は開館、翌22日(火)は休館)
- ◆入館料／一般500円[400円]・学生300円(高校生以上)
※[]内は20名様以上の団体料金

館蔵品展

川喜田家の 茶の湯

かわきたきゆうだゆうけ

津に本拠を置く川喜田久太夫家は、寛永年間より江戸の大伝馬町一丁目に店を構え、木綿問屋を営んでいた伊勢屈指の豪商です。

伊勢商人の多くが、江戸店の運営は有能な番頭に任せ、主人は伊勢に在国したまま経営に携わる一方、高い文化水準を保持していたことが知られています。川喜田家の歴代当主も、和歌、俳諧、国学、茶の湯、本草学など多岐にわたる分野において高い教養を身に付け、この地域の文化振興に貢献しました。

本展では、川喜田家の文化活動の中から、茶の湯を中心に紹介します。石水博物館の館蔵品から、川喜田家歴代当主が蒐集した茶道具と、茶書、茶会記、許状、書状などの周辺資料も展示します。

京都の文化とも密接なつながりを持ちつつ伊勢の地に根差した、川喜田家の茶の湯をお楽しみください。



古伊賀水指 銘「鬼の首」 桃山時代
(前期のみ展示)



宝珠釜 大西浄林作 江戸時代



十四代川喜田久太夫(石水)茶道許状 不審庵宗左(表千家十一世碌々斎) 万延元年(1860)



井戸茶碗 銘「紅葉山」 朝鮮王朝時代



祇園祭礼図 伝長谷川久蔵筆 桃山時代 (後期のみ展示)



竹一重切花入 銘「音曲」
伝千利休作 桃山時代
(前期のみ展示)

ギャラリートーク

- 日 時:7月12日(土) 14時～
担当学芸員が展覧会をご案内します。
ご希望の方は当日1階受付にお集まりください。
※参加費は無料ですが、入館料が必要です。

同時開催 (第2展示室)

所蔵品展〈川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品〉

展示替休館

9月8日(月)～11日(木)

次回展覧会

企画展〈三輪休和・壽雪兄弟と川喜田半泥子
—山口県立萩美術館・浦上記念館
陶芸コレクションから—〉
会 期:9月12日(金)～11月9日(日)



交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス(久居駅方面行)にて15分、「青谷口」下車徒歩8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス(津駅方面行)にて10分、「青谷口」下車徒歩8分
- JR阿漕駅より徒歩12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線(久居方面)へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道(角に緑の看板あり)を左折、約300m 先左側。(駐車場 15台)

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

第1展示室

館蔵品展《川喜田家の茶の湯》

平成26年7月4日(金)～9月7日(日)

前期:7月4日(金)～8月10日(日) 後期:8月12日(火)～9月7日(日)

出品目録

番号	作品名	作者・指定など	窯・材質など	展示期間
1	井戸茶碗 銘「紅葉山」		朝鮮王朝時代	
2	井戸脇茶碗		朝鮮王朝時代	
3	雨漏堅手茶碗 銘「富士」		朝鮮王朝時代	
4	御本茶碗		朝鮮王朝時代	
5	赤茶碗 銘「栗鼠」	長次郎作	桃山時代	
6	古萩茶碗 銘「荷葉」		江戸時代	
7	黒織部茶碗 銘「暫」		江戸時代	
8	赤楽茶碗 銘「松韻」	伝本阿弥光悦作	江戸時代	
9	黒茶碗 銘「むらくも」	道入作	江戸時代	
10	赤楽茶碗	久田宗全作	江戸時代	
11	瀬戸芋子茶入		桃山時代	
12	織部IHS茶入		桃山時代	
13	赤楽瓢形茶入	一入作	江戸時代	
14	つぼつぼ大棗	三代中村宗哲作	江戸時代	
15	栗蒔絵中棗	遠坂宗仙作	江戸時代	
16	竹茶杓	小堀遠州作	江戸時代	
17	竹茶杓 銘「霜かれ」	杉木普齋作	江戸時代	
18	存星塗写菴香合		江戸時代	
19	呉須有馬筆香合	青木木米作	江戸時代	
20	染付玉章香合	永楽保全作	江戸時代	
21	宝珠釜	大西浄林作	江戸時代	
22	東陽坊釜	二代宮崎寒雉作	江戸時代	
23	染付呼継火入	了入作	江戸時代	
24	古伊賀矢筥口水指	出土品	桃山時代	前期のみ
25	古備前水指		桃山時代	後期のみ
26	伝千利休書状	古織公宛	桃山時代	前期のみ
27	祇園祭礼図	伝長谷川久蔵筆	桃山時代	後期のみ
28	本阿弥光悦書状	宗二老・宗不老宛	江戸時代	前期のみ
29	本阿弥光悦書状	卯十一日付	江戸時代	後期のみ
30	千宗旦歌入書状	宗五郎宛	江戸時代	前期のみ
31	句画賛	千宗旦筆	江戸時代	後期のみ
32	布袋図	久隅守景筆・杉木普齋賛	江戸時代	前期のみ
33	松平不昧書状	和泉守宛・重要美術品	江戸時代	後期のみ
34	古伊賀水指 銘「鬼の首」	三重県指定文化財	桃山時代	前期のみ
35	古伊賀瓢形水指	出土品	桃山時代	後期のみ
36	竹一重切花入 銘「大黒」	藤村庸軒作	江戸時代	
37	鯉蒔絵茶杓 銘「龍門」	藤村庸軒作・初代中村宗哲塗	元禄七年	
38	標有梅蒔絵香合	藤村庸軒在判	江戸時代	
39	源氏蒔絵茶箱	小川破笠作	江戸時代	
40	竹一重切花入 銘「音曲」	伝千利休作	桃山時代	前期のみ
41	千家十職茶箱	利齋、浄益、慶入ほか	江戸時代	後期のみ
42	堀内宗心茶事聞書	川喜田政式(夏蔭)筆	江戸時代	
43	住山楊甫聞書并茶事色々話	川喜田政明(石水)筆	江戸時代	
44	小習十三ヶ条大概鈔	川喜田政明(石水)筆	江戸時代	
45	『茶事七事式』写・一冊		明和七年元跋	
46	諸方薄茶会記	川喜田政明(石水)筆	嘉永年間頃	
47	三都諸国親類并二懇意附合所書控	川喜田政明(石水)筆	江戸時代～明治	
48	竹茶杓 銘「安全亀」	金森得水作	江戸時代	
49	『本朝陶器攷證』刊・六冊	金森得水著	明治二十七年刊	
50	川喜田久太夫茶道許状	碌々齋筆	安政六年、万延元年	
51	『茶湯秘抄』写・五冊	土門元亮編著	江戸時代中期写	

52	『草人木』刊・三冊		寛永三年刊
53	『楽焼茶器形寸法』写・一冊	守静齋改写	寛政二年写
54	『形もの香合記』写・四冊		江戸時代後期写
55	茶会記(於長生庵)	客:川喜田久太夫ほか	
56	茶会記(於又隠)	客:竹川竹斎ほか	
57	茶事流行につき触書		天保十三年
58	茶臼(松平不昧所持)	竹川竹斎箱・射和文庫旧蔵	
59	射和萬古寿老人香合	射和文庫旧蔵	江戸時代
60	茶席起絵図	草斎筆・射和文庫旧蔵	江戸時代
61	洛中洛外図屏風	六曲一双	江戸時代

第2展示室

所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

平成26年7月4日(金)～9月7日(日)

出品目録

番号	作品名	作者	窯・材質など	備考
1	織部黒茶碗 銘「暗香」	川喜田半泥子	千歳山窯	
2	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子	千歳山窯	
3	井戸手茶碗 銘「雨後夕陽」	川喜田半泥子	千歳山窯	
4	浜木綿図	川喜田半泥子筆・自賛	絹本着色	
5	刷毛目茶碗 銘「一声」	川喜田半泥子	廣永窯	
6	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	川喜田半泥子	廣永窯	
7	志野茶碗 銘「不動」	川喜田半泥子	千歳山窯	
8	片身替茶碗 銘「布袋和尚」	川喜田半泥子	千歳山窯	
9	句画寄書	青々、一藻、半泥子ほか	紙本墨画淡彩	
10	刷毛目茶碗 銘「土用波」	川喜田半泥子	廣永窯	
11	粉引手茶碗 銘「夕立」	川喜田半泥子	千歳山窯	
12	伊賀水指 銘「慾袋」	川喜田半泥子	千歳山窯	
13	刷毛目茶碗 銘「鮑」	川喜田半泥子	廣永窯	
14	井戸手茶碗 銘「おぼろ」	川喜田半泥子	廣永窯	
15	黒茶碗 銘「無茶太郎」	川喜田半泥子	千歳山窯	
16	赤楽大茶碗 銘「閑く恋慕」	川喜田半泥子	廣永窯	
17	縮れ釉水指	川喜田半泥子	千歳山窯	寄託作品
18	昼顔図	川喜田半泥子筆	紙本墨画淡彩	
19	つぶれ壺 銘「ふくら雀」	川喜田半泥子	千歳山窯	
20	竹尺八掛花入 銘「みの虫」	川喜田半泥子	竹	
21	粉引手茶入 銘「伊勢みやげ」	川喜田半泥子	千歳山窯	
22	春慶塗茶器	川喜田半泥子	轆轤の芯棒	
23	竹茶杓 銘「須磨琴」	川喜田半泥子	竹	寄託作品
24	竹茶杓 銘「草まくら」	川喜田半泥子	竹	
25	千歳山の墓図	川喜田半泥子筆・自賛	紙本墨画	
26	四方香合・蛙香合	川喜田半泥子	廣永窯	
27	赤絵香合 銘「仏法僧」	川喜田半泥子	千歳山窯	
28	香合 銘「番町の家」	川喜田半泥子	千歳山窯	
29	志野振出	川喜田半泥子	千歳山窯	
30	赤絵高杯	川喜田半泥子	千歳山窯	
31	陶釜	川喜田半泥子	千歳山窯	
32	信楽灰器	川喜田半泥子	千歳山窯	
33	火消し壺	川喜田半泥子	廣永窯	

山里茶席内

番号	作品名	作者など	窯・材質など	展示期間
34	書「雪月花」	即中齋・淡々齋・愈好齋筆	紙本墨書	
35	旅枕花入	川喜田半泥子	千歳山窯	
36	伊賀水指	川喜田半泥子	千歳山窯	
37	井戸形茶碗 銘「そのまま」	川喜田半泥子		

※展示作品、展示期間が変更になる場合があります。